



特定医療法人 樟風会 早津江病院

kusunoaoba 樟の青葉

編集後記

台風11号が過ぎてから風が少しだけ涼しく感じられる今日この頃です。一日中エアコンが必要だったのが朝晩はつげなくても大丈夫になりました。病院でもコロナ感染予防対応のマスク着用も汗ばむ事が少なくなり過ごしやすくなりました。

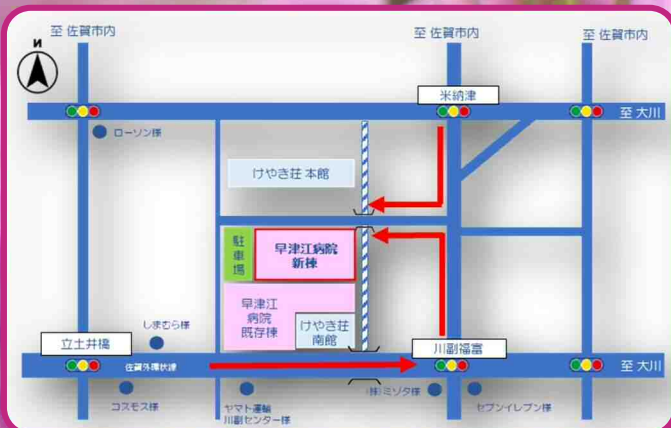
周辺の水田では稲穂も首を垂れ収穫の時期を迎えています。作業時には十分な休息をされ体調管理を心掛けてください。

さて病院では、9月12日より1階のひだまりホールがオープンしました。皆さんの憩いの場・集いの場になれるよう職員一同願っています。

広報・イベント委員会



↑こちらの建物が道路入り口から見た新棟です



早津江病院へのアクセス

佐賀県佐賀市川副町福富827
TEL 0952-45-1331
FAX 0952-45-7334
E-Mail : hayatsue@shoufuukai.or.jp

こちらからもアクセス★

<https://shoufuukai.or.jp>



Topics

『地域』のために
・防災食の日

『人』のために
・慰霊祭
・ひだまりホールがオープンしました
・SCOOP!
院長秘書井本太輔さんに真相を直撃!

『未来』のために
・敬老の日

『地域』のために

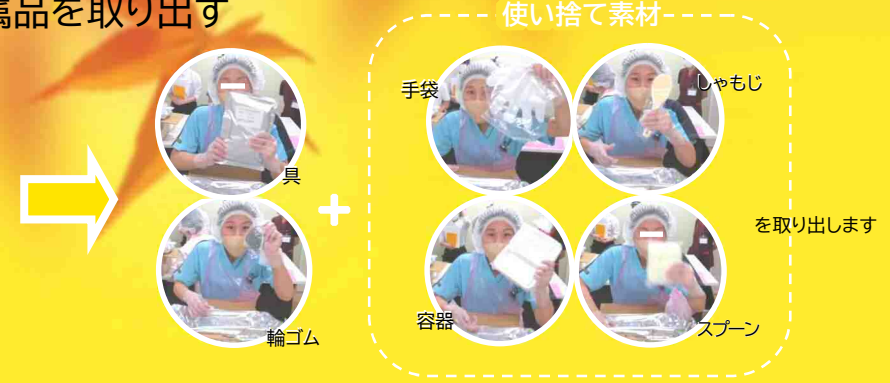
1. 管理栄養士より備蓄食についての説明を受け 調理スタート

(感染予防のため、事前に調理台の消毒を行います。)

①マジックライス※を開封し付属品を取り出す



OT調理室へ移動し中身を確認



②あらかじめ沸かしておいた約9ℓのお湯を線まで入れる



ビニール中の赤い線を目印に

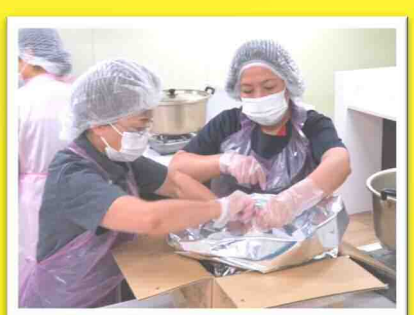


消毒済みの片手鍋でお湯を注ぎます

③よくかき混ぜて封をして15分ほど蒸らす



具を入れて味付け



しっかり封をします

2. マジックライスを蒸らしている間に備蓄食の保管場所の確認をしました



危機管理対応チームの管理者より説明を受けています。

保管場所には“もしも”の災害に備え、たくさんの水や保存食を保管しています。
いざという時に戸惑うことのないよう、きちんと整理され分かりやすく配置されています。



この箱には500mlの水が24本入っています。実際に運ぶ想定で重さの確認も行いました。



『未来』のために

敬老の日



令和4年9月に各病棟やデイケアにおいて「敬老会」が開催されました。式典では卒寿・米寿・喜寿など迎えられた方には記念品を贈呈しました。各病棟でビンゴ大会や茶話会などを開催しそれぞれの会場で楽しんでいます。普段の病棟での活動と違った雰囲気の良い気分転換になられたのではないかと思います。

毎年開催している敬老会ですので、これからも継続した開催が出来るよう患者様の笑顔を第一に、コロナウイルス感染に十分注意しながら開催していきたいと思っています。



9月1日「防災食の日」

9月1日は防災の日です。この日は広く国民が台風・高潮・津波・地震等の災害についての認識を深め、それらに対処する心構えを準備することにより、災害の未然防止と被害の軽減を助けることを目的として制定された日です。



非常用の乾パンとシチュー

当院でも災害時のために備蓄食を保管していますが、病院の改装などで保管場所が変更になっています。万が一に備え、備蓄食の保管場所や運搬にかかる労力、調理にかかる時間等について職員への周知をしなければなりません。

防災の意識を高めるため、そして災害発生時に素早く行動できるようになるため、当院では9月1日の防災の日に合わせて備蓄食の調理訓練を「防災食の日」と名付け実施しています。

当日は、新しく生まれ変わった調理訓練室を会場に、危機管理対応チームをはじめとする事務部・看護部・診療技術部より募った代表メンバー(総勢14名)での開催となりました。

今号は、みなさんに実際の取り組みをご紹介します★



ち・な・み・に

段ボール1箱あたり、マジックライスが5kg入っており、これに9ℓのお湯を加えると約14kgの重量になります。
1食100gを想定され、100gあたりの熱量は380キロカロリーです。



※ マジックライス とは？

アルファ化米のことで、一度炊いたご飯を乾燥させ、長期保存を可能にしたご飯です。熱湯や水を加えることで炊き立ての状態に戻ります。軽量で簡単に調理できるので非常食に適しています。

3. 調理室に戻り 出来上がったマジックライスを使い捨て容器に分けます



出来上がったマジックライスはお湯をたっぷり吸っているため、混ぜるのも一苦労。



目分量でプラスチックの容器いっぱいに分けると、最終的に127食分になりました。

4. 終了後に参加メンバーへアンケートを実施して次回への検討材料とします

『人』のために

慰霊祭

令和4年8月4日(木)午前10時より、当院のB棟4階会議室にてコロナ対策を十分に行いながらお亡くなりになった方々の御霊を偲ぶ「令和4年早津江病院慰霊祭」を執り行いました。

コロナ感染症対策の為、式には理事長はじめ院長、事務長、看護部長、師長たちが出席されました。ご住職の読経のなか、出席者が続いてお焼香をし、ご冥福をお祈りいたしました。参列できなかった職員も仕事の合間におまじりをさせていただきました。

毎年8月に行われる慰霊祭は、お亡くなりになった患者様を偲びながら、職員全員が気持ちを新たにさせていたただく日です。これからも慰霊祭を大切に執行していきたいと思えます。

お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。



ひだまりホールがオープンしました

管理棟1階、旧玄関横に皆さんの集いの場所が新しくオープンしました。

広い窓、広いホール、4人掛けの円卓が並んでいます。晴れた日には心地良い光が差しこんでくれます。家族との面会、売店利用時の喫茶スペースとして、院内散歩時の休憩場所として、外部の方との面談、職員同士の交流など幅広い利用が可能になります。ひだまりでどんな想像をされますか？暖かい木漏れ日の場所で小鳥が戯れたり、日向ぼっこしたりなんかほっこりする場面が想像されます。病院のひだまりホールも目指すは「ほっこりする場所」です。

全ての方と垣根を超えたくつろぎのスペース・憩いのスペースになれば幸いです。



“院長秘書”とは世を忍ぶ仮の姿… 実は、佐賀県を代表するスーパーアスリートなんです！

皆さんは「クレール射撃」という競技をご存じでしょうか？

この競技は「トラップ」と「スキート」の2種目があり、時速80km~120kmで飛行する直径11cmのお皿を「散弾銃」で撃ち落として点数を競う競技です。この競技は「1得点」で順位が大きく変動するためメンタル的な要素も強く、とても繊細でダイナミックなスポーツ競技です。世界的には競技人口も多く、オリンピックの正式種目でもあります。最近では新聞やテレビでも取り上げられるようになりましたが、あまり馴染みが無い「銃」を扱う競技で、怖い印象をお持ちの方もいらっしゃるかと思います。日本は世界で一番「銃」の所持に厳しい国と言われ、警察より様々な調査や試験に合格しないと「散弾銃」の所持は認められません。取扱いも決められたルールをきちんと順守し、適切に取り扱えば決して危険ではありません。

私がこの競技と出会ったのは社会人で、免許取得後の練習で先輩方に育成強化指定選手としてスカウトを頂いたことがきっかけです。今年で競技を始めて4年目になりますが、今年9月末に栃木県で開催された都道府県対抗大会ではスキート種目の「佐賀県代表選手」として出場し、佐賀県団体3位に入賞することが出来ました。また、翌月10月末には「全国の予選で勝ち上がった39名の選手」へ与えられる「全日本選手権大会」への出場権を獲得することが出来ました。これも日頃から佐賀県の皆さん、病院の皆さんよりたくさんの応援やご支援をいただいているおかげで掴み取れた結果だと思っています。

これからも皆さんの応援を胸に「佐賀県代表」また「早津江病院代表」として、「日本一」を目指して頑張ります。今後とも温かいご声援とご支援の程をよろしくお願いいたします。



佐賀新聞に載りました!!



SCOOP!! 院長秘書 井本太輔さんに真相を直撃!

※この番組はフィクションです。

クレール射撃-スキート競技

開催場所 成年 会場 佐賀県射撃研修センター(佐賀市大和町)

正式競技 アラカルト

日程 2024年9月26日(木)~29日(日)

注目!!

クレール射撃スキート競技は今年、栃木県から出場選手が3人から2人に減るが、ブロック大会なしで本県内への出場が可能になった。県内の有望選手は、総務課(早津江病院)の井本太輔選手(ひよこ業種)の30代3人がしのぎを削る。中でも、東京五輪代表候補で、2017年の全日本選手権で優勝した総務課の井本太輔選手は他の2人を圧倒している。ただ、数年前からスキート競技を始めた井本、早津江選手の実力も飛躍的に向上。県選手を指導する日本クレール射撃協会強化情報戦略室の山下友世コーチは「井本、早津江選手は(総務課の)高い技術を習得しようと、必死になっている。伸びしろがある」と期待を込めた。

